第31号
PIWU
2015年3月2日

郵政産業ユニオン TOKYO・NEWS

● 発　　行 ●
郵政産業労働者ユニオン
東京地方本部
発行責任者　　鵜島　一広
〒104－0031
中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局 5F

声あげて 団結の力示そう！

ストライキ権74・5%で確立

春闘要求実現を目指す全組合員によるスト権一票投票は、批准率74・5%でスト権を確立しました。郵政ユニオン中央本部は、2月13日、賃上げをはじめとして増員や均等待遇などに関する要求書をグループ各社に提出し、同日、春闘交渉がスタートしました。

今、都内の郵便局会社で働く半数以上が非正規社員です。区分も配達も非正規社員が担います。しかし、賃金・労働条件は・・・・。

非正規だから・・・ でも・・・俺たちあっての郵便局

郵便局で働く非正規社員は、24時間、365日働いています。早朝出勤もあれば夜勤も深夜労働もあります。真夏の炎天下でも、雪や台風でも正社員と同じく配達に出かけます。こうして働く非正規社員は半数を超え、非正規社員の労働なくして業務は回りません。

ところが、処遇面では半年や一年更新で常に雇止めにおびえ、8時間フルに働いても食費を削ってギリギリの生活です。事故を起こせば損害賠償を請求され、風邪で休めば無休です。しかし、責任だけは正社員と同じく負わされます。

今年の春闘は、賃上げは勿論、大幅増員、非正規社員の均等待遇と正社員化を求めてたたかわれています。今年の春闘は思い切って一緒に声をあげましょう。

安倍首相は「企業収益を拡大させ、賃上げや雇用につなげる」と強調しています。

しかし、14春闘で労働者の家計は楽になったかといえば、消費税増税や円安・物価上昇で賃金は目減りし、実質賃金は18か月連続マイナスです。

アベノミクスで恩恵を受けたのは大企業だけです。大企業の内部留保は、14年7～9月期で286兆円。安倍内閣発足から21兆円も増えているのです。

非正規の雇用率は90年代後半から増加し、現在は40%に届こうとしています。労働者の月平均賃金は97年の37・2万円をピークに下がり続け31・7万円までになりました。非正規雇用が増えたことで労働者全体の賃金低下となっています。

「郵便局もブラック企業では・・・」との声も聞かれます。日本の長時間労働、サービス残業、過労死・過労自殺、ブラック企業が社会問題となってる今、日本の働く非正規社員、正社員とスクラムを組んで賃上げと増員、雇用の安定と正社員化の流れを築きましょう。